

共に歩む。

輝かしい未来への第一歩を踏み出すみなさんへ。
患者さんの健康で豊かな生活を支えるため、
みんなで業務に取り組んでいます。
福井赤十字病院の一員として、
共に働きませんか。

About
Japanese Red Cross
Fukui Hospital

病院概要



理 念
人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

薬 剤 部 の 理 念
医薬品の適正使用・適正管理を通じ、患者さんの健康な生活に貢献します。

基 本 方 針
患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。
安全と質を向上させ、優しい医療を行います。
人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。
急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。
保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。

病 院 概 要
病院名 …………… 福井赤十字病院
所在地 …………… 〒918-8501 福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL 0776-36-3630(代) FAX 0776-36-4133
開設年月日 …………… 大正14年4月1日
病院長 …………… 小松 和人
許可病床数 …………… 529床
診療科 …………… 代謝・内分泌内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、
血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、緩和ケア内科、
消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、
心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、
リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、麻酔科、
救急科、歯科、歯科口腔外科、臨床検査科
職員数 …………… 1,106名(令和7年1月1日)

日本医療機能評価機構による病院機能評価認定病院
地域がん診療連携拠点病院
地域医療支援病院
地域周産期母子医療センター
地域災害拠点病院
原子力災害拠点病院
一次脳卒中センター(PSCコア施設)
第二次救急指定病院
福井県ドクターヘリ受入病院

メッセージ

薬剤部長
澁谷 貞一
TEIICHI SHIBUYA

福井赤十字病院では、チーム医療に積極的に取り組み、薬剤師もチームの一員として患者さんに安全・安心で効果的な薬物療法を提供するために活動しています。薬剤師となるみなさん、私たちと共に学び、信頼される薬剤師を目指しませんか。

あなたが輝く場所がある。



薬剤師経験8年(徳島大学卒)

多職種と協力しながら チームで向き合う。

入職6年目から栄養サポートチーム(NST)に参加しています。多職種が集まることで様々な視点から治療に介入し、自分では気づけなかった患者さんの問題点を知ることができます。その際、患者さん1人に対し、多数の医療従事者が関わっていることを実感します。チームの一員として関わることにやりがいを感じると同時に、自身のスキルアップに繋がっています。



病棟業務で患者さんの投薬を看護師と協議



栄養サポートチーム(NST)ラウンド

一日のスケジュール

- 8:30 ICUカンファレンス
- 8:40 早期栄養介入カンファレンス
- 8:50 ICU病棟業務
- 10:30 病棟業務服薬指導
- 15:00 NSTラウンド

安全な治療を支えるために 細心の注意で日々業務。

抗がん剤調製は薬剤師の特性を考慮しながら実施しています。曝露対策を十分に行い、自分自身はもちろんのこと、他の医療従事者が抗がん剤に曝露しないよう細心の注意を払いながら調製しています。抗がん剤調製が終了した後は、翌日の化学療法予定患者さんのカルテを確認し、治療内容について医師と協議しています。自分の提案が患者さんの安全な抗がん剤治療につながるため、とてもやりがいを感じています。



抗がん剤調製

一日のスケジュール

- 8:30 手術用麻酔セット準備
- 8:45 抗がん剤調製
- 13:30 翌日の抗がん剤準備
- 14:30 注射オーダーセット



手術用麻酔セット準備



翌日の抗がん剤準備



薬剤師経験5年(名城大学卒)

あなたが成長できる環境がある。

薬剤師経験1年(愛知学院大学卒)



福井赤十字病院を選んだ理由は？

病床数や診療科が多い病院で働くことで、多くの知識や経験を身に付け、いずれチーム医療で貢献できるような薬剤師になりたいと思い、当院を選びました。また、救護活動にも力を入れていることを知り、被災地で薬剤師が活躍する場があるということも魅力的だと感じました。

薬剤部のいいところは？

気軽に相談に乗ってもらえたり、わからないことを優しく丁寧に教えてくれる先輩が多いところ。自分がミスをしてしまった時などに改善策を提案してくれるので、勉強になることが多く、自分を成長させる場がたくさんあるのがいいところだと感じます。

仕事を始める前と後で変わったなと感じることはありますか？

自分で考えて行動することが増えたように思います。人に言われて行動することが多かった私ですが、働き始めてみて、次に何をしようか、どう行動したらいいかを考えることが重要だと感じるようになりました。

休日は何をして過ごしていますか？

休日には趣味のお菓子作りを楽しんでいます。最近、さつまいも掘りを体験し、収穫したさつまいもでスイーツポテトを作り、同僚にも好評でした。このような活動は、ストレス解消にもなり、仕事に対するモチベーションを高めてくれます。



薬剤師を目指す人に一言お願いします。

私はまだまだ未熟で、わからないこともたくさんあります。しかし、毎日が勉強になり、楽しく薬剤師として働いています。薬剤師として働くことに今不安に思っている方もいらっしゃると思いますが、先輩方が優しくフォローして下さるので安心して働くことができます。一緒に働けることを楽しみにしています！



薬剤師経験2年(摂南大学卒)

仕事のやりがいを感じるタイミングを教えてください。

病棟業務で患者さんから感謝の言葉をいただいたとき、他職種と問題を解決したときです。服薬指導をした後にこんな言葉をかけていただきました。「とても丁寧で分かりやすい説明をしてくれたし、相談も親身になって乗ってくれてありがとう。この病院に来てよかったわ」。真摯に患者さんに向き合って自分のことをやった努力が報われたと感じました。また、他職種からの相談もよくあります。各職種で意見を出し合い、職能を発揮して問題を解決できたときは薬剤師として貢献でき、培った知識を活かした瞬間でした。病院薬剤師でしか味わえないやりがい、自身の成長にも繋がります。

今一番楽しい業務は何ですか？

病棟業務です。服薬指導や面談などですぐに患者さんと会話・状態の確認ができ、訴え・希望に合わせて処方提案できることが病院薬剤師としての魅力だと感じます。病棟業務を通して薬剤師として知識や経験が身につくのが楽しいです。私の担当病棟では他職種とのカンファレンスがあり、多角的に1人の患者さんに向き合い、コミュニケーションを取れるのも楽しいと感じる理由の一つです。

休日の過ごし方を教えてください。

飲食店巡りや旅行、院内の部活動に参加しています。美味しいものを食べ、運動をして日々の業務の疲れをリフレッシュしています。日本赤十字社という大きな組織なので、各都道府県にある日赤病院が集まる大会にも部活動の一環として参加することができます。プライベートな時間は思ったより多いため自分らしい休日を過ごすことができると感じます。



キャリアラダー(※) (レベルI)

1年目は指導者がマンツーマンで業務を指導・支援。
薬剤師としての基礎となる知識・姿勢の研修を行います。

(※)経験年数に応じた習得すべき知識、技術、姿勢を評価、承認する仕組み

4月

■ 薬剤部の役割、業務全般についての講義

■ 調剤業務開始



■ 各種研修会に参加

6月

■ 注射調剤業務開始



7月
8月

■ 製剤業務、注射ミキシング業務開始



10月

■ TDM業務開始



11月～
1月

当直業務を開始

■ 病棟業務、薬剤管理指導業務開始



3月

■ 医薬品情報・治験・臨床試験業務



キャリアラダー(レベルII) の最終評価



認定

<到達目標>

薬剤師としての基本的知識・技術・姿勢を習得し、安全・確実に業務を実施できる。
自分の役割と責任を認識し、自分の能力を超えて業務を求められたときには支援や指導を仰ぎ、業務内容について相談できる。
社会人としてのマナーを身に着け、行動できる。

あなたを支える仲間がここにいる。



薬剤師経験7年
(金沢大学卒)

患者さんに寄り添いながら 最適な薬物治療を提供。

入職してすぐは毎日基本的な業務を覚えることに精一杯でしたが、次第に仕事のペースをつかむことができて、現在では余裕をもって仕事ができていると感じます。

しかし、日々の業務でわからないことや、疑問に思うことに会うこともあります。そのため今でも先輩方の助けを借りる場面がありますが、みんな真剣に相談に乗ってくれるのでとても心強いです。

最近は病棟で業務を行うことが増えて、患者さんと直接お話しできる機会が増えました。薬剤の用法用量が正しいかをチェックすることはもちろん大切ですが、患者さんごとに生活スタイルや治療に対する考え方などが違うため、最適な治療というのは人によって異なると思います。今後はそういった面にも配慮して、より一人ひとりに最適な薬物治療を提供できるように努めていきたいです。



薬剤師経験10年
(摂南大学卒)

幅広い業務や院外活動など 多様なやりがいに出会える。

当院への入職を機に地元である関西を離れ、福井県に来ました。入職当初より上司との面談や日常会話から、仕事面だけでなくプライベートについても気にかけてくれる環境であったことも手伝い、すぐに福井という地に慣れ、特に不安を感じることもありませんでした。

令和2年からは福井県病院薬剤師会の学術委員に任命され、院外活動についても積極的に取り組み、多くの場面でやりがいを感じています。

現在、入職当初より関心のあった感染制御の分野に携わっており、目標としていた感染制御認定薬剤師の資格を取得することができました。

引き続き自己研鑽を怠らず努力し、患者さんへ還元できるよう努めていきたいです。

あなたの成長を優しく、時には厳しく見守ってくれる先輩がいます。



薬剤師経験19年
(金沢大学卒)

業務がより円滑に行えるよう 育成や働きやすい環境作りを。

当院に入職してから日々の業務を行う中で、がんの患者さんに関わる仕事に携わりたいと思い当時の所属長に他施設での研修の希望を出し、がん薬物療法認定薬剤師の資格を取得しました。資格取得後は主にレジメン管理や抗がん剤による副作用対策の構築、服薬指導を行ってきました。抗がん剤治療を初めて受ける患者さんは様々な不安を抱えており、治療内容の説明や副作用対策の提案を通して、その不安を少しでも和らげることが出来たらという思いで普段の業務を行っています。

現在は課長として薬剤部全体が円滑に業務を行えるよう調整し、若手の育成にも力を入れています。今後は薬剤師全員が働きやすい部署になるように尽力していきたいです。



薬剤師経験26年
(帝京大学卒)

頼れる仲間の存在と ママにも安心の職場環境。

大学卒業後、当院に就職し、結婚、出産を経て、現在に至ります。仕事に家事、育児と毎日大変ですが、家族の協力はもちろん、上司、先輩、後輩といった薬剤部の仲間にも助けられてがんばっています。産後職場復帰したときには、子供を院内の保育所に預けていました。延長保育や病児保育もあるため、安心して働くことができました。仕事を理解してもらえる保育士さんやママ友に育児相談ができてよかったです。

現在は調剤業務、病棟業務の他、糖尿病療養指導士として院内の糖尿病サポートチームに所属し、患者さん向けの糖尿病教室や講演会に携わっています。これからも自分の経験を活かして後輩のみなさんの相談にのり、仕事もプライベートもサポートしていきたいです。

チーム医療の一翼を担う ～専門性を深化して、患者さんのために～

各チームで担当薬剤師が活躍しています。
高い目標と向上心を持ってチーム医療に取り組んでいます。

がん化学療法チーム Cancer Chemotherapy Team

レジメンの作成や見直しなどの管理、患者さんに副作用が発現した際の対処方法や支持療法を医師に提案したり、患者さんに日常生活のアドバイスなどを行っています。



化学療法部会ミーティング



栄養サポートチーム Nutrition Support Team

病気や手術のために十分な食事がとれない患者さんに最も適切な栄養補給の方法の提案や、病気の回復や合併症の予防に有用な栄養管理方法の提案などを行っています。



NSTチームミーティング



緩和ケアチーム Palliative Care Team

がんに伴う患者さんの痛みなどの苦痛緩和のための薬物療法を提案することで、生活の質の向上に努めています。



緩和ケアチームミーティング



摂食嚥下支援チーム Eating and Swallowing Support Team

患者さんの摂食嚥下に対する薬物療法についてサポートしています。



摂食嚥下支援チームミーティング



感染防止対策チーム Infection Control Team

院内の感染防止対策を行ったり、抗菌薬の効果を最大限に発揮するため、適正な使用の推進を行っています。



ICTラウンド



医療安全推進チーム Medical Safe Promotion Team

インシデント・アクシデント事例の収集・分析・対策立案等を行い、安全な医療の提供に努めています。



医療安全推進チームミーティング



糖尿病サポートチーム Diabetic Support Team

糖尿病患者さんのあらゆる問題にチームで取り組み、糖尿病教室では糖尿病の患者さんやご家族に対し、薬物療法について説明しています。



糖尿病教室



褥瘡チーム Pressure Ulcer Team

褥瘡治療の促進と新たな褥瘡の発生を防ぐために多職種で協議しています。



褥瘡ラウンド



災害救護活動

昨今、災害時における医療体制が変化していく中で、薬剤師の役割も大きなものになっています。その社会的ニーズに応え

るべく、災害時に対応できる薬剤師を育成しています。災害が起きた際は、医療救護班の一員として出動し、被災された方々を全力でサポートしています。



東日本大震災(調剤業務)



熊本地震(市の職員と話し合う様子)



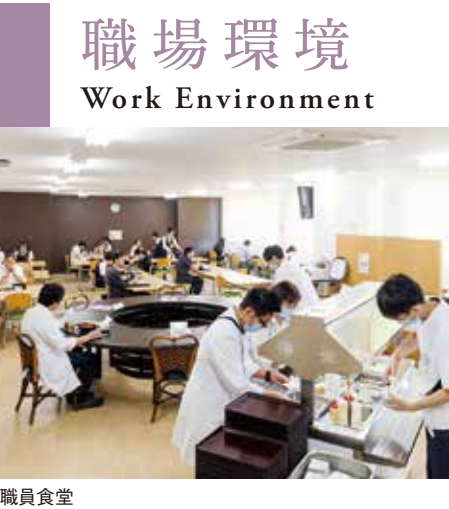
能登半島地震(石川県庁災害対策本部)



能登半島地震(服薬指導) 09

あなたが生きる場所。
心にゆとりを持ち、前向きな気持ちで働けるよう職場環境の充実を図っています。

待遇 Working Conditions	
勤務形態	8:30～17:00／完全週休2日制(週あたり実働38時間45分) ※宿・日直あり ※転動なし
休暇	年次有給休暇、創立記念日(5月1日)、産前・産後、育児休業、介護休業、特別休暇(結婚、忌引き、永年勤続休暇、介護休暇、子の看護休暇など)
給与	【月給モデル】317,700円(時間外5時間、宿直1回、日直1回の場合) ※上記に通勤手当、住居手当、扶養手当、抗がん剤調製にかかる特殊勤務手当等が加算されます。 ※期末・勤勉手当あり(令和6年度実績 年2回 4.3カ月) ※年1回定期昇給あり(4,000円～5,000円程度)
福利厚生	①各種社会保険(健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等) ②院友会(病院職員で組織する互助会) ●部活動 バレーボール部、ソフトバレーボール部、テニス部、フットサル部、バスケットボール部、野球部、マラソン部、写真部、囲碁部 ●レクリエーション ゴルフコンペ、ボウリング大会、釣り、お菓子作りや フラワーアレンジメント教室等の開催、観劇・映画・コンサート等のチケット補助、院内誌発行等 ●職員旅行 ●診療見舞金制度(当院を受診する際に医療費が助成されます) ③日赤グループ独自の福利厚生制度あり ●慶弔見舞金 ●日赤グループ保険(生命保険・医療保険) ●永年勤続記念品(旅行券) ●確定給付企業年金 ④院内保育施設 ⑤職員寮(ワンルームタイプ) ⑥認定・専門の資格取得への補助



職員食堂



院内保育施設(未就学児)



レクリエーション



カフェ



コンビニエンスストア



職員旅行

教えて！薬剤部 Q&A

Q. 現在は何人の薬剤師が働いていますか？

A. 現在は男性19名、女性10名で計29名(令和7年1月現在)の薬剤師が在籍しています。入職5年目以内の薬剤師が6名、6～10年目の薬剤師が12名おり、頼りになる先輩たちがみなさんを待っています！



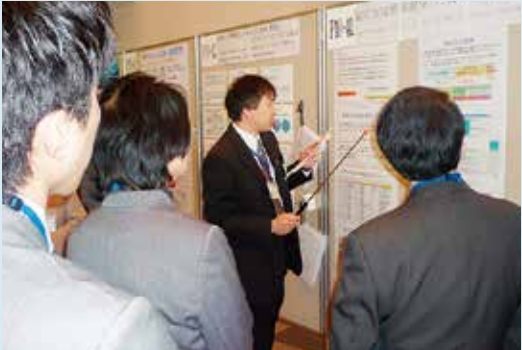
Q. 当直業務はいつごろから始まりますか？忙しくはないですか？

A. 当直業務は一通り業務を習得した後、冬頃から開始します。主な業務は調剤業務(救急外来と入院)、伝票による薬品の払い出しであり、それほど難しいものではありません。また、業務がひと段落すれば仮眠をとることができ、業務終了後は朝から帰宅できます。



Q. 学会に参加することは可能ですか？

A. 業務を調整して自由に参加することができます。また、資格の取得や継続、発表など一定の条件を満たせば病院の補助を受けて学会に参加することもできます。



Q. 休みはどのように取得できますか？

A. 入職時(4月)から有給休暇を取得することができます。土日と合わせて取得することで長い連休にすることも可能です。育児休業については男性の取得も推進しており、取得者も増えています。

Q. スポーツが好きなのですが、運動する環境はありますか？

A. 当院では、野球、フットサル、バスケットボール、バレーボール、テニスなどの運動部が活動しています。部に在籍することで他職種と交流したり、様々な情報交換をすることができます。また、日赤スポーツ大会では他の赤十字病院の運動部と試合をして日頃の成果を試すことができます。



Q. 県外出身者は多いですか？

A. 現在31名のうち4名が県外出身です。なお、病院の近くに職員寮があり、県内外出身にかかわらず希望者は2年間住むことができますので、福井の生活に不慣れな方も安心して働くことができます。